

八丈町 News Letter From
Hachijyo Town Assembly

議会だより

No.

161

2012.2.25

議会だよりは八丈町のホームページでもご覧いただけます
http://www.town.hachijo.tokyo.jp/gikai/gikai_dayori/gikai_dayori.html



平成 24 年八丈町成人祝賀式

目次

- 第 4 回八丈町定例議会 2
- 一般質問 3
- 本会議の質疑から 8

第4回八丈町定例議会

新体制で迎えた初の定例会

山下町政がスタートして約3ヶ月がたち、初の定例会が開かれました。平成22年度の決算が大きな比重を占めるなかで、執行部の顔ぶれが大きく変わったわけではありませんが、積極的に答弁に立つ山下町長が印象的で新鮮な議会になりました。



写真は平成23年第4回八丈町議会臨時会

さて、私たち新人議員5人も当選して1年を経ましたので所感を述べさせていただきます。

一番 山下 崇

私にとってこの1年は、これまで経験したどの1年より重く厳しいものでした。

観光立島を目指して当選させて頂いたものの、7割程度を震災、被災者支援に奔走しました。今後は、住民の皆様との約束を一つ一つ達成していきます。

二番 菊池 良

島の為に何が出来たのかと自問自答し活動し、あつという間に過ぎた1年。そして昨年の大震災以降、「島は一つの家族」という思いで一杯になりました。

皆さんの想いを糧に人口減少の阻止、産業の復興・活性化を取り戻すため、力一杯がんばって参ります。

三番 岩崎 由美

「まず予算書の数字を徹底的に追いなさい」とアドバイスを受けましたが、23年度予算書、22年度決算書を通じて、その意味が徐々にわかってきました。一般質問もその展開を予想して、もつとかみ合った議論ができるようにしなければと感じています。

四番 広江 才

未曾有の大震災、水害、また前町長の突然の死去と、震撼させられた1年が過ぎました。が、課題は山積。過疎化対策への環境整備、観光、産業構造の抜本的見直し、起業家の育成及び受け入れ態勢など、常に

危機感をもって提案したいと考えます。

五番 水野 佳子

「町と住民の方々とのパイプ役」になればとの思いで、この1年間活動をしてきました。八丈町が抱える課題は沢山ありますが、今こそ、行政と住民の力を合わせ、住んで良かったと言える町を作るために、全力で働いて参ります。

不納欠損の問題

平成22年に施行された八丈町債権管理条例により、これまで漫然と積み上げられてきた回収不能な債権を放棄できるようになりました。

これによって、平成22年度決算において5000万円を超える不納欠損処理が行われましたが、同時に徴収の公平性を担保する必要があります。

債権について庁内で連携強化するなど、多くの課題を議論しました。



町発行の印刷物の確認体制確立を

答 企画財政課企画情報係での内容確認を経る仕組みを徹底する



山下 崇 議員

◆所要時間 9分

政課企画情報係が担当しているがチェック機能を發揮するまでには至っていない。
本来であれば一義的に担当部署によるチェック機能が働くべきである。

質問 八丈町で発行している印刷物(映像も含む)には単純な誤植ではなく、趣旨や実情と大きくかけ離れた間違いがある物が多く見られる。

発行先が違っていても、町の予算で作成する以上内容の確認は重要である。
作成費用に応じて確認体制の確立(印刷物作成審議会設置など)をする考えはないか伺いたい。

答 山越 整 総務課長

八丈町の組織上「町の刊行物」については、企画財

八丈町職員の人材育成は

答 研修の充実やマネジメントの充実により人材育成を図りたい



岩崎 由美 議員

◆所要時間 14分

道徳前町長も山下現町長も「町民あつての八丈町、職員あつての町長」という思いが強いが、人材を含め組織の課題は以下大きく4点考えられる。
①組織の体質について、恥ずかしながら「ありがとうございます」などの挨拶等基本的なビジネスマナーができていない。

質問 町長のご就任挨拶中「町政を担う八丈町職員の人材育成を一層図りたい」とあった。私は本来「人材育成」の「材」は「材料の材」ではなく「財産の財」を充てるべきと考えているがそれはさておき、この件は町政を考える上で重要かつ緊急課題である。人材育成に関して①現在の課題は何であるか。②町として取り組む具体的な事業、内容について伺いたい。

担当部署によるチェックでは納得がいかない。
今後は担当部署による決済に加え、企画財政課企画情報係での内容確認を経る仕組みを徹底し、印刷物等の品質向上を図る。

答 山越 整 総務課長



②行政改革等の影響もあるが、公務員を取り巻く環境が厳しくなり業務負荷が量・質とも過大になったことによる弊害が出てきている。
③組織(職員)の構成バラバラの問題として入庁3年

未満の若手・島外出身者の割合が高い。
④人のやりくりが厳しい中で機構改革を行いながら組織の形を変えているが、重点的に施策として取り組みたい部署に人員を配置することが困難になっている。
これら課題への対応としては、
①新任職員の教育を充実。
②既存の職員の教育についても従前のものに加え、行政需要に対応するための「マネジメント」「政策企画立案」「プレゼンテーション」といった別プログラムの研修を実施。
③予算、関係機関との調整が必要であるが、民間企業研修の導入をしたい(民間企業の「お客様(町民)への対応」を職員に肌で感じてもらいたい)。研修の他に既に取り組んでいることとして、八丈町全体や、所属する部署の課題や改善策を個人や課単位で考える機会を設け、機構改革に活かす取り組みを実施している。「職員ひとりひとりの集合体が組織であり、組織

は生きている」という考え方のもと研修の充実やマネジメントの充実により人材育成を図りたいと考えている。

再質問

「町民あつての八丈町」ということで、町民が町を信頼するということは重要であるが、先般の病院の問題の件について、未だに町民への公的な説明が行われていない。これについての対応はどのようになっているか。

答 総務課長

前回の議会でご報告させていただいた以降の内容がまだ未決着である。弁護士を通じ検察において「不起訴になった」ことが昨日確認された。「不起訴」という刑事事件上の結論を経て、公営企業管理者の特別職としての懲戒分限の審査委員会を開き、その結果が出た時点でこの件は終了となる。その後、広報で町民の皆様がこの問題について全て報告するという段取りを考えている。

末吉小学校の校舎と校庭の利用は

答 医療法人から利用の打診があり、計画の提出を待っている



奥山 幸子 議員

◆所要時間 39分

質問 島の過疎化を食い止めるために、空いた公

共施設を有効に活用し、地域の振興に役立てる政策が必要である。とくに、坂上地域の活性化は町の重要課題であり、それぞれの跡地利用について町の考えを伺う。

- ①末吉小学校の校舎と校庭
- ②末吉保育園の園舎
- ③南海保育園の跡地
- ④真砂保育園の跡地

答 菊池良企画財政課主幹

末小と体育館と校庭につ

いては、医療法人から利用の打診があり、計画の提出を待っている。末吉保育園については現在一時的に使用されているが、今後については不明。南海と真砂保育園跡地については自治總會の要望を参考にして、地域の活性化につながる利用を考える。

再質問

民俗資料館の傷んだ展示物の保存を考慮し

移設場所として、スポーツイベント誘致の合宿所として、また、デイサービスの場所として複合的に考えることができる。南海跡地については公会堂の要望が出ている。いずれも前向きに検討してほしい。

答 企画財政課主幹

今回の提案も考慮しながら住民の意向を最重要に考

えていく。



末吉小学校

養護老人ホーム・複合施設構想に関する町の財政的根拠は

答 現段階で財政的な根拠は示せない

質問

養護老人ホームの建て替え問題が浮上したのを機に、総務文教委員会では協議会を開き、町と運営事業者である養和会から現状を伺った。今後は、高

齢者福祉政策の実現に貢献してきた養和会との調整が不可欠である。そのために町はどのような対策をたてるのか、町の考えを伺う。
①10年後の養護老人ホーム入所予定数はどのように予測しているか。
②複合施設構想に関する町の財政的根拠はあるか。

答 笹本 重喜 健康課長

①平成23年11月現在で新規入所者は6人。高齢者は増加していくが、本来の措置施設の考え方に基づけば、大幅な増加は考えにくい。年間10人程度と考えるが、はっきりした数字は言えない。

②複合施設も様々ある案の一つにすぎない。町としては、措置施設の養護老人ホームの必要性と建物の老朽化を認識している。事業主体や施設形態により国や都の補助金も異なってくるので、現段階で財政的な根拠を今は示せない。

再質問

①措置施設は必要というが、大島の場合措

置者は0で既存のサービスで対応している。新島も0で介護にシフトしていくという。三宅島では措置者は1人で、やはり介護に移行するという考えで八丈は特異な存在。民間による高齢者用住宅や公設民営の住宅を提供し、給食などの配送サービスを充実させることで問題解決すべき。

②財政的根拠を示せないのであれば構想そのものを練り直す必要がある。町は、養和会や議会に対して財政的根拠を示すべきだ。複合施設もいろいろあるが、それぞれの組合せについて財源と利用者負担を比較検討できる計画案を示してほしい。末吉保育園をデイサービスの拠点にする考えはないか。

答 健康課長

①措置者は0にはできないので、養護施設は必要と考える。

②今後議論を煮詰めて地域にふさわしい施設を考える。デイについては検討したい。

風力発電を利用した電気自動車運用に係わる来年4月からの経費は

答
NPO法人八丈島産業育成会の責任下で運営。町からの支出はない



菊池 陸男 議員

◆所要時間 56分

質問

「八丈町環境観光づくり事業」が2台の電気自動車を使い、再生可能エネルギー導入と環境観光モニターツアーを組み合わせた実証実験を行い、「八丈島クリーンアイランド構想」をまとめるという。

- ①事業を実施する「NPO法人八丈島産業育成会」の定款、沿革、主要実績を明らかにされたい。
- ②既存レンタカー事業者の民業圧迫にならない配慮はされているか。
- ③補助事業が終わる来年4

月からの運用経費はいくら発生し、どこから捻出するのか。

④ふれあい牧場の風力発電は、何種類ものタイプの機種を作っても壊れる経緯があった。どのようなタイプの機種が島の条件で実用的か。設置費用は今までいくらかかり費用対効果はどうであったか。

⑤「クリーンアイランド構想」の企画立案について八丈町との関わりはどうなるのか。

答 菊池良企画財政課主幹

①特定非営利活動の種類は、まちづくりの推進、学術文化芸術、スポーツの振興、環境の保全を図る活動などが規定されている。活動実績は、風力発電を利用した電気自転車レンタル事

業など。

②事業を行うに当たりレンタカー業者に事業内容の説明を行った結果、事業を圧迫するのでやめてほしいとの意見は出なかった。

③4月以降は完全に産業育成会の責任下で運営。町から事業支援などの支出はない。メンテナンス等の経費は、以前に町役場に設置したものと同じ方式の発電機であり、故障なく稼働していることからかからないと考えている。

力発電機は一方方向の風しか受けられなかった。町役場に設置されたものは全方向360度の風を受け風車が回転できる形状になっており、1年以上の稼働で故障がない。従って、全方向から風を受けられるタイプが向いていると考える。設置費用は、ふれあい牧場5キロワット4基で4600万円、南原野球場3キロワット3基で2146万円、役場駐車場3キロワット1基で760万円。費用対効果は、NPO法人が自然エネルギーを使った事業に参入するようになったこと。

⑤産業育成会が検討委員会を設けて将来的な再生可能エネルギーの導入、電気自動車普及のあり方を検討し、それを構想、ビジョンとしてまとめて八丈町と東京都に提案する。

再質問

(2)に対して、東京都に確認したところ、5月までに地域の事業者の理解を得なさいとの指導であつ



風力発電用風車(電気自動車で利用)

たが、11月27日に説明会が開かれた。レンタカー業者は悲痛な思いをしていると聞いている。既存業者を圧迫するようなことをしてはいけない。

答 企画財政課主幹

説明会開催前に産業育成会で個別説明に回り、事業

一般質問終了後、翌日に行われた緊急質問

質 問 南原の風力発電はすでに故障している。

「役場の風力発電は、この一年間メンテナンス費用がかかっていない（だから大丈夫）」の答弁との整合性は。スタート直後の故障は八丈島の自然を理解していない初步的でお粗末な事態。根本的な見直しが必要では。自然エネルギー導入事業を行うのであれば、指導力等町の管理が不十分である。

答 企画財政課主幹

12月7日、データを取る

を一緒にやらないですかとお誘いをかけた。しかし、電気自動車を日中貸し出し、夜間南原で充電、再度朝取りに行く運用となるため、レンタカー業者からはそのような運用は出来ないとの回答であった。そこで新しいレンタカー業者を立ち上げた経緯がある。

ための発電機が故障。風車から小屋のバッテリーに一度充電した後、電気自動車に充電する仕組みであるが、本日、小屋のバッテリーへの充電機能が故障したことを知った。メンテナンス費用は、産業育成会に建設業者、電設業者が所属しているので大抵のことは修繕可能、修繕できない部分はメーカーが無償修繕することになっている。どのような発電施設、電気自動車などが八丈島に向いているかなどの実証実験のため、あえて潮気が強い所に設置している。もう一度メンテナンスをして実証実験を続けたい。

●こんな質問もしました

質 問 ①アシタバ加工工場再建に向けた町の関与や支援についてどう考えるか

②アシタバの病気対策として焼畑栽培、生態系栽培技術の取り入れを

答 ①生産農家、アシタバ部会から正式な要望が出てくれば対応する

②研究機関である普及センタ

ーに要望していきたい

質 問 ①新庁舎の一角にギャラリースペースの確保を

②日曜や休日にも利用できるように庁舎内部との隔離を

③レール、ライト、展示台などの設備設置を

④運営委員会設置を

答 ①確保している

②セキュリティーが必要な場所は隔離できる

③レール、ライトは設置。展示台は折りたたみ机に布をかけ利用する予定。

④年明け以降に住民の方も参加した運営委員会を立ち上げる

質 問 山下新町長の抱負と政治理念は

答 行政経験を町政に活かしながら町の発展に努める。政治理念は、道徳前町長の意見を引き継ながら「町を一新」していくこと。

島内での白内障手術の早期実現を

答 日本医科大学では難しいとの回答



水野 佳子 議員

◆所要時間 12分

質 問 高齢者、特に独居世帯・年金生活者にとつて島外で手術を受ける精神

的、経済的負担が大きい。手術そのものは難しいものでなく、機器（リースの考え方もあり）・スタッフが揃えば短期で済む。大島（個人病院より医師を派遣）、小笠原（北里大学より医師を派遣）ではすでに実施されている。

的、経済的負担が大きい。手術そのものは難しいものでなく、機器（リースの考え方もあり）・スタッフが揃えば短期で済む。大島（個人病院より医師を派遣）、小笠原（北里大学より医師を派遣）ではすでに実施されている。

長 答 伊勢崎 孝久 病院事務 10月7日に町長が日本医科大学を訪問し、白内障の手術を島内で行っていた。いただきたい旨をお願いした。しかし、八丈町で手術用の医療機器を用意したとしても医師の立場からは手術をして直ぐ帰るわけにはいかず、医師と専門スタッフがある程度の期間派遣するこ

とは難しいとの回答である。別の方法があるかどうかを含め関係機関と相談したい。

スポーツ団体などの受け入れを行うための担当部門設置を

答 教育課生涯学習係を1人増員した

質問 来年の3月には新しい野球場が完成する。大きなイベントが予定されており、富士グラウンド、サッカー場と共に多くのスポーツ関連の来島者増が期待される。各スポーツ団体や民間団体も積極的誘致を進めているが、行政においても迅速な対応ができる担当部門を設置してはどうか。観光やスポーツ誘致に関して教育委員会、産業観光課、観光協会など窓口がばらばらであることから、来島

者への対応が十分に行き届いていないと思う。スポーツ誘致の活性化と観光誘致を真剣に考えるなら窓口を一本化するべき。

答 山越 整 総務課長

来年実施する国土交通大臣杯第5回全国離島交流中学生野球大会を成功させることが重要な課題であり、スポーツ施設を所管し、なおかつ社会教育という観点



南原に建設した野球場

から教育課生涯学習係1名を増員して町組織の横断的なプロジェクトの推進にあたっては、プロジェクト

底土にある燃料タンクにおける津波被害を想定した対策は

答 発電所、送電網、電力系統に影響がない限り電力供給は可能



山下 松邦 議員

◆所要時間 30分

のノウハウを活かし、再来年度実施の国民体育大会も成功させたいと考えている。

して言い伝えや文献を調べ、対策を見直しては。

答 山越 整 総務課長

国や東京都による防災計画等の見直しが進んでおり、この程東京都防災対応指針が提示された。八丈町も順次「わが家の防災対策」等の見直しを図りたいと考えている。

東京電力の内燃力発電所には、底土の燃料タンク以外にも敷地内に燃料タンク



質問 底土にある燃料タンクは海拔30mよりかなり低い所に位置している。津波でタンクに支障ができれば、島は真っ暗闇となり車も動かなくなる。バックアップ用自家発電機は坂下には町役場、支庁などにあるが坂上には無い。建替えて要らなくなった支庁等の発電機を、坂上の避難所等に装備出来ないか。津波に対

があり、20〜25日分の燃料備蓄があるとのこと。発電所、送電網、電力系統に影響がない限り電力供給は可能であるとのこと。

言い伝えや文献については、内閣府中央防災会議が東日本大震災を受け、過去に起きた地震の津波高の再調査を進めている。その一環として東京大学の博士、東北大学の助教らが1605年の慶長地震における八丈島の津波を再評価するということで現地調査等を9月に実施した。

町有地を提供した町営墓地の新設を

答 早急に事を進めることが出来ない問題である

質問 町営墓地について、1000坪ぐらいの土地を町有地から選別し、一般公開で提供する考えはないか。

答 佐藤 真一 住民課長
経営面からの視点では需

第4回定例会の質疑から

被災者の受け入れ事業 の来年度継続を

奥山幸子議員 新しい公共の場づくりのためのモデル事業交付金（被災者の受け入れ事業）1067万円で住民が増えたことは大きなことで、被災地の方にも貢献したと考える。来年度も引き続き事業実施を。

山博文各議員 岡山県瀬戸内市から宇喜多秀家関連ツアーで来島した方々により、市の木であるオリーブ2本を植樹していただいた。来年は豪華客船「飛鳥」で750人参加のツアーを企画したいと聞いている。現在も岡山県から多くの方が訪れ、今後も集客が見込まれる。宇喜多秀家のお墓と植樹した木の周辺、および受け入れ態勢の整備を。

奥山拓産業観光課長 お墓はどこまで手を付けて良いかなどを調査して検討する。

山下奉也町長 お墓の件は実施方法があると思うので即検討する。岡山県、また瀬戸内市とはどのような形で交流を図るかが大切になる。積極的に交流を図っていききたい。

な思いをしていると聞く。八丈支庁にも働きかけながら洋式トイレへの交換を。

答 佐藤 真一 住民課長

新たにトイレを建設する場合、洋式トイレを基本にしていくことは承知している。支庁にも申し入れたい。一部和式を残して欲しいと

の要望や、現行の和式トイレを撤去し洋式トイレに変更しようとしても、容量等の技術的な部分によることや、代替措置を図ることができず変更設置できないところもある。それ以外の大部分の箇所は計画的に順次変更、あるいは新規設置を図る。

●こんな質問もしました

質問 加工品のブランド化と八丈島にあった冷凍機導入を

答 ソフト事業（どの資源を活用するかなど）の整備と、ハード事業（施設整備など）の検討が必要。総合的には物流センターも含めて検討しなければならない

質問 70歳以上の温泉行きバスの無料化を

答 国土交通省に相談したが無料にするのは難しいとの回答。今後、シルバークラスを利用しての方については検討したい

質問 ①ザ・BOONへ行く

質問 ②道路のU字溝に蓋の設置を

②足湯への案内板が判りにくい。夜間でも反射して見える物に交換を

③足湯のタンクの蓋の取り替えを

答 ①早期完了に向け努力する
②要望に沿ったものを検討する
③取り替え済

質問 エコ・アグリマートの陳列方法、接客対応改善と専用ユニホーム着用を

答 運営方法の形態、売場等も含めて関係者または関係機関と連携し検討したい



公衆トイレの和式トイレから洋式トイレへの交換を

答 計画的に交換、新規設置を図る。八丈支庁にも申し入れを行う。

質問

高齢化に伴い、島内の方のみならず観光客の方々も和式トイレに不便

要の増加、少子化の流れなど予想が立てづらくなっている。島内需要が少なければ新たに町民以外にも求めていくのか、相応の負担額（永代使用料や墓地の管理料）を既存の墓地を含めて検討することが必要。場所の選定は住民ニーズに对应、景観に配慮し周辺地主の理解を得られる場所、既存の島内各所に点在する墓地との整合を図ることが必要。その上で建設計画を練り上げ東京都の都市計画審議会に図ることや、墓地経営等の許可申請を行う事務手続きもあり、早急に事を進めることができない問題である。

山下松邦、長戸路義郎、奥

宇喜多秀家のお墓周辺の整備を

院外薬局について議会への報告は。ジェネリックの利用は

奥山博文議員



院外処方について議会に一回も説明がない中、民間の院外薬局1件が建築工事を開始し、職員募集を実施している。いつ議会で説明をするつもりか。

土屋久公営企業管理者 コンサルに院外処方実施における病院の経営状態の調査を出している。平成24年1月中旬に結果が出る予定。結果が出次第経済企業委員会に回る。民間の院外薬局は、町が院外処方になるであろうとの予測の基に動いていると思われる。町として院外処方にするかを正式決定していない。

山口英治議員 院外処方にした場合、院外薬局の薬剤師との連携を。

公営企業管理者 町が院外処方を実施するとすれば参入業者は複数あると考える。町も薬剤師を最低人数置かなければならない。不足があれば手伝いを求むことはあつてしかるべき。

沖山宗春議員 民間の院外薬局が4月オープンと広報しているが、町の入札情報などを出す時期が遅い。

公営企業管理者 院外薬局は町が業者と契約するものでない。町は患者さん処方箋を渡すまでである。何処の薬局を選ぶかは患者さん次第であり、何処の薬局がいつ店を開いても町からのアプローチはない。

土屋博議員 患者から見てマイナスになつてはならない。院内、院外処方を町で検証の後、経済企業委員会で見聞を聞き全体に図りた



山下奉也町長 薬剤師の収入、患者に対するサービスなどの位良くなるかがポイントである。経済企業委員会、議会と相談し決定したい。

沖山宗春議員 医療費抑制にはジェネリックの使用しかなないと厚労省も推奨している。院外薬局になった場合、町からジェネリックの使用を勧めることはできないか。

公営企業管理者 基本的には患者が医師に話すか、カードを見せ、患者の病気に合うと判断すればジェネリックを処方する。医師もジェネリックを勧めていないと思われる。院外処方になれば、調剤薬局で患者がジェネリックへの変更を申告したり、調剤薬局の薬剤師が勧めることは有りうる。

岩崎由美議員 医師が処方したものを院外薬局で変更できるのか。

伊勢崎孝久事務長 処方箋

に全ての薬剤に対してジェネリック使用可能か判断する署名欄があり、署名がある

白内障の島内治療実施を

山口英治議員、水野佳子各議員



白内障の島内治療実施について

医療機器については財源的には何とかであるが、医師の確保が問題であると考え。住民からニーズがあるので前

れば変更できない。何も記載されていないければ変更可能。

向きに、やれないではなくてどうすればできるのかを考えて。

公営企業管理者 日本医科大学に話したところ、お互いに良い方法がないか検討することになっている。

山下奉也町長 医療機器などのハード面は可能。医師などのソフト面は対応を考え努力をする。

平成22年度決算認定の質疑から

救助兼用消防ポンプ自動車購入目的は

菊池良議員



救助兼用消防ポンプ自動車は現場に行つて大きすぎて邪魔になる

との意見を聞くが、運用状

況と目的は。

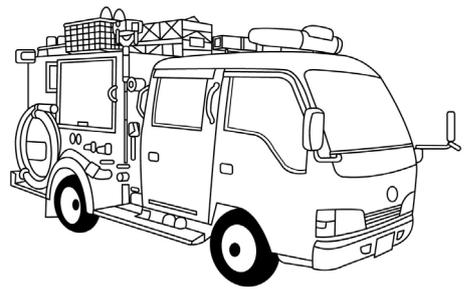
瀬筒穰消防長 総重量が重い救助資機材を積載する必要がある、足回りへの負担が大きいことから走行中の安定性の確保と、水利から遠いまたは無い現場でもすぐに消火活動ができるように水槽を付けたことから大

型化した。大型化したことで水利に直接付けない場所が8カ所ある。これまで合計24回出動したが活動に支障があったことは無い。

菊池良議員 狭い道が多いので、逆に普通の消防車が入れない可能性もある。消火活動に支障をきたさないような運用を。空港消防の消防車が出動した記憶があ

るが、今後も同様の体制での利用が有りうるか。

消防長 以前、空港消防の化学消防車が出動したこともあるが、現在は空港消防の営業時間内は外に出せない。化学消防車を使用しない運用をするためにも、水槽付のポンプ車が必要と考



●その他

第4回定例会の質疑から

- ・山村離島振興施設整備事業中止理由は
- ・全国離島中学生野球大会国体の進行状況は
- ・学校給食費の見直しを
- ・浄化槽設置における浸透処理は状況を考えて実施を
- ・富士野球場廃棄人工芝の

配布を

・町営住宅の浄化槽使用負担金は誰が支払うのか

平成22年度決算認定の質疑か

ら

・今後の不納欠損対策は
・AED設置効果は
・文化協会の設立を
なども質問しました。

行政視察レポート



長野県 木島平村

「農村文明創生」に向けた取り組み

期間 平成23年10月12～14日
視察者 山下崇、菊池睦男

奥山幸子、山口英治
奥山博文、冲山宗春
土屋博

木島平村は、日本の農村の原風

景が残る典型的な美しい農村である。人口約5000人で、冬は積雪1・5～2メートルの有数の豪雪地帯である。

この村と八丈町は、三井元八丈支庁長の郷里という事があって、八丈の小学生が冬にスキー体験に

出掛け、木島平村の小学生が夏に海水浴の体験で来島するという交流が続いている。

また、一昨年11月には村議会の一行が八丈島を訪問し、相互の友好関係の絆が非常に太く、そして深くなってきたのを感じる。

農を基軸とした持続可能な村づくり

今、木島平村では、地域に対する愛着と誇りを醸成し、都市との



やまびこの丘公園（ダリヤが咲き乱れる）

共生を目指す「『農村文明』の創生」に向けた取り組みが進められている。「人に人格があるように、村には村格がある。」(柳田国男民俗学者)。

都市の後を追いついていくのではなく、農村のもつ自然や生産、地域の良さを暮らしに活かし、誇りある住み良い地域社会(村格)を築くという理念の下に、平成22年に『農村文明塾』を設立した。その中に、村民を中心とした人材を育成するための「農村学講座」が設けられ、今年度は「自らの足下を見つめよう」をテーマに、農村での暮らしや生業など、農村生活の新たな発見を探る講座

を開催している。

求められるアイデンティティ

村の執行部との交流の場では、「『内発的展開』(宮本憲一環境経済学者)と通底している考え方ではありませんか」と質問したら、芳川村長は深く頷いて同意を示された。

今、八丈島の最も必要な町づくりの基本は、この種の理念と具体的な施策が必要であることに、更に確信を深めることができた。

『離島文明塾』の開設が求められる!!

報告者 菊池 睦男



島根県 海士町

U・イターンの就労支援策

期間 平成23年10月19〜21日

視察者 菊池良、岩崎由美

広江才、水野佳子

山下松邦、長戸路義郎

小澤一美

昭和25年7000人近い人口も現状では約2300人と、実に三分の一にまで過疎化が進む一方、

膨れ上がった地方債、隠岐島前三島による合併を模索するも平成15

年末断念。自立の道を歩むが、小泉政権の「三位一体改革」による地方交付税の突然かつ大幅な削減で「第二の夕張」を覚悟しなければならぬ事態に陥る。

海士町は存続をかけた試行錯誤、守りの戦略として徹底した行財政

改革の断行、攻めの戦略として地域資源を活用した産業創生、雇用の場を拡充して成長の場を島外に求めることで島の活性化を掲げる。

行政面では、内部部局の職員を配置転換し、交流促進課(観光と定住対策)、地産地商課(第一次産業の振興)、産業創出課(新たな産業の創出)の三課を設置し現場重視を模索。U・イターン者を積極的に受け入れ、島ブランドの立ち上げにより産業の見直し、付

加価値の向上を図る。

また、地元土建業者による隠岐牛農場での繁殖から肥育、また定置網漁など、その方向性は一貫している。

インフラの面では新築・空き家リフォーム67戸を緊急整備、現状イターン者188世帯310人、Uターン者173人を数える。

地方債の残高も四分の一に削減成功、まだ再建途上にあるも成果は著しい。

高速船・大型フェリーを含め航路は日々何便もあり、決して不便ではない。水も豊富であり、歴史ある海士町は八丈島と似ている。しかし、ほとんど車の往来も人影もない通りを見て、過度の人口減少が町の経済規模を極端に縮小させられた結果だと感じた。

八丈島も見習う点は多々ある。バブルが弾けて以来20数年、閉塞感から豊かな自然の中での仕事・定住を求める人々は多数ある。

偶然、海士町で岩ガキ養殖に従事している人に「数年前、八丈島に定住を求めた者だ」と言われショックを受けた。人口推移に危機感を持ちつつ、産業の創生・振興を図ることがこの島の緊急課題だと考える。

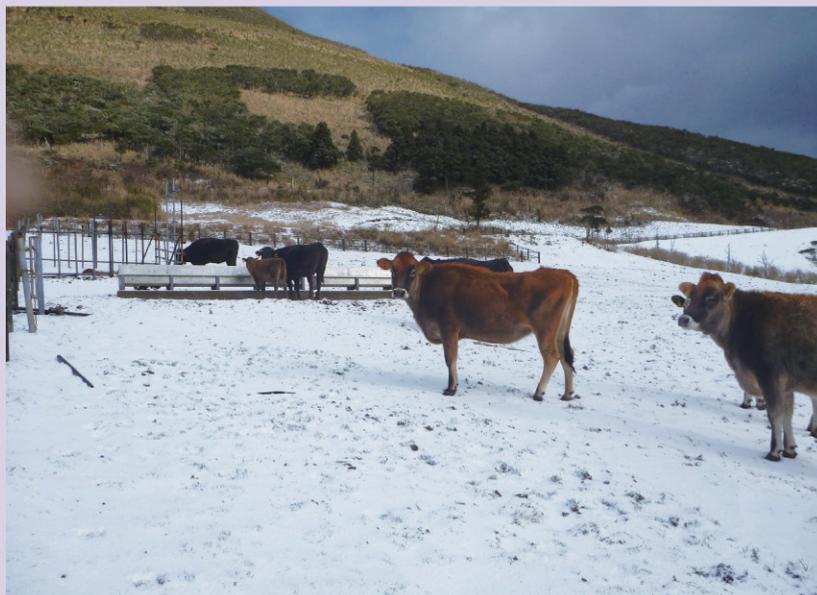
海士町での研修の様子



報告者 広江 才

町ナビ

全国的に例年以上の積雪が見られるなど、厳しい寒さとなった今年の冬。節分寒波は八丈島にも雪を降らせ、八丈富士や三原山では一面が銀世界になった。3日午前のふれあい牧場は氷点下の寒さ。一面に降り積もった雪の中でも、放牧牛は元気でいつも通りえさを食べていた。周辺には透明なつららが朝日を受けて輝いていた。



12月定例会主な議決事項

- 八丈町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙
 - 平成23年度八丈町一般会計補正予算
ほか補正予算5件
 - 八丈町清掃施設設置条例
ほか条例制定2件
 - 八丈町富士野球場改修工事請負契約
ほか契約変更1件
 - 平成22年度八丈町一般会計決算認定について
ほか決算認定5件
 - 平成22年度八丈町一般会計継続費精算報告について
 - 平成23年度八丈町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価
(平成22年度分) について
 - 議員の派遣について(全国離島国家予算要望活動)ほか1件
(追加日程)
 - 緊急質問(風力発電について)
- 協議会開催
- 総務文教委員協議会 平成23年10月31日開催
 - 養護老人ホームの今後のあり方について
- 経済企業委員協議会 平成23年12月2日開催
- 島しょ漁業振興施設整備事業
(生産基盤整備事業) について
 - 山村離島振興施設整備事業 について
 - 平成23年度観光関係事業報告
 - 町立八丈病院不明金について
 - 院外処方について

編集後記

昨年は、東日本大震災を始め大きな災害が続き、人の心や「絆」の大切さが見直された一年でした。自然災害だけではなく、経済不況や政治の不安定な状況はまだまだ続いています。私達の住む八丈町も厳しいスタートとなりました。だ

からこそ人に優しい町づくりのために、みんなの心をひとつに・・・との思いを強く感じます。「希望は人生の宝なり」です。今年こそ笑顔の多い一年になりますように。

水野佳子

発行人 八丈町議会議長 小沢一美

編集 議会だより編集委員会 委員 山下崇 岩崎由美 水野佳子 奥山幸子

〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷2345-1 tel 04996-2-1121 fax 04996-2-5575